

インジケータ使用マニュアル

第 1 版

2014 年 5 月 24 日

作成者 おちやめ

1 はじめに

はじめまして、おちゃめと申します。

今回、インジケータを作ろうと思ったのは、兼業トレーダーとして長くトレードしていくためには、どうしても仕事していない時間を有効活用したいし、仕事してる時間でも相場を把握できることが必要かと考えたのかきっかけです。

今後も、使えそうなものを作っていきたいと思っています。

読みづらいかもしれませんで、わからないところとか、あれば、どんどん指摘ください。

2 使用にあたっての条件

使用に当たっては、以下の条件を守っていただきたくお願いします。それが、無料配布の条件です。つまり、本インジケータ類は、トレーダー仲間として近しいほんの一部の方しか配布していません。知らない方から、欲しいといわれても困ってしまうのです。また、売買に関するノウハウに関しては、一部（大部分??）勝ち組トレーダーさんのノウハウで作っています。なので、因縁つけられても困るからです。まあ、他の方も同等なものを作っていると思うので大丈夫だとは思っています。

では、条件です。

① 再配布禁止です。

知っている方なら信頼できるのですが、そうでない方は、売買シグナル通りトレードして、負けたとか言われたくないのとか、諸々です。

もし配布したい方がいましたら、連絡ください

② 売買シグナル通りにエントリーしないでください。

あくまでも相場環境把握にお使いください。実際のトレードは、ダウを築いているとか、移動平均線がパフェクトオーダーになっているとか、ボリンジャーバンドがエクспанションしているとか、自分の目で見て確認して、良いエントリーポイントを探してください。

③ シグナルのロジックは、公言しないでください。

シグナルを使ってもらうに当たり。シグナルのロジックを知っていただく必要があります。ですが、ロジック自体は私のアイデアでないところもありますので、上記のとおりです。そのため、ブログに画像を貼る時などは、できればシグナルの矢印は消してからお願いします。まあ、チェックはしませんが。

④ テスターになってください

MT4のデバッグってあまりにも弱くて、使い物になりません。どうしても速く作るためには、試験を協力してもらう必要があります。そういう意味で私が提供するインジケータ類は常にβ版だと思ってください。

・ロジック通り動いてない

- ・暴走した（これには注意しているつもりですが）
- ・デフォルト値を変えてほしい。
- ・こういうロジックを組み込むと良い。
- ・こういうインジケータが欲しい。 などなど

まあ、いろいろ書きましたが、ともに、億トレーダー目指して頑張りましょう。

3 相場環境の把握

3.1 前提

ここからが本題です。

トレーダーがしなければ作業として、相場環境を認識しなければならないということがあります。相場環境把握9割という方もいます。そうであれば、できるだけ、相場環境を認識する作業の手間が少なくなれば、多通貨・多時間軸をチェックでき、一番勝ちやすい相場を選択することができます。**トレーダーは難しいところを取りに行くのではなく、できるだけ簡単なおところを確実に拾っていくことが必要となります。**しかしながら、必ずしも自分がパソコンの前に座った時に、そういう簡単な相場が来るとは限りません。「せっかく有給使ったのに！！」と思いながらずっとチャートを眺め、とりあえず「エントリーしちゃえ！！」なんていって強引なエントリーが負けを生むことが多々ありました。無駄なエントリーは勝率を下げるということが分かっているのに、です。

そこで、相場環境の把握として、視覚的に分かりやすいものとして、次の2つをロジック選択し、関連するインジケータを作ることにしました。

- ① マーフィさん：スーパーボリンジャおよびスパンモデル
- ② 維新の介さん：MACDルール

3.2 用語説明

用語としてたぶんこれから、ちょくちょく出てくると思うので、簡単に説明します。

- ① 上げダウ：ダウ理論による上昇トレンドを築いていること。高値・安値切りあがり状態ということ。
- ② 下げダウ：ダウ理論による下降トレンドを築いていること。高値・安値切り下がり状態ということ。
- ③ 段、段数：これは私特有の使い方かも。関係は以下の通りです。
1分足⇔5分足⇔15分足⇔1時間足⇔4時間足⇔日足⇔週足⇔月足
たとえば、1分足に対して1段上は5分足、2段上は15分足、
1時間足に対して、1段下は15分足、2段下は5分足
- ① 短期ダウ・長期ダウ：たとえば長期足で見ているとき、上昇しているところも、細かい山谷ができていくかと思います。それを長期ダウ・短期ダウといいます。

3.3 スーパーボリンジャおよびスパンモデル

マーフィさんの手法は、本も出版されており、利用している人もたくさんいて、あまりにも有名です。なので、ここでは詳細は書きません。基本的な考え方は、一目均衡表の雲を先行させないチャートです。こんな感じです。



一目均衡表自体は、いろいろ難しいところがありますが、スパンモデルは視覚的にもわかりやすいです。

マーフィさんは、先行スパン1を青、先行スパン2を赤と設定しますので、青色スパン、赤色スパンと言ったりもします。あおの青色スパンと赤色スパンの間のいわゆる一目均衡表で言う雲の部分を、ゾーンと呼び、上記のチャートでは、水色の部分を買シグナル、桃色（？）のところを売りシグナルとします。あくまでも点や線でとらえるのではなく、ゾーンで機能すると思います。そして、マゼンダの線が遅行スパンです。26期間終値を後ろにずらした線です。

下のチャートを見てください。



ちょっとポイントを赤丸・青丸で囲ってみました。左から最初の赤丸と呼応するのが青丸の部分になるかと思います。遅行スパンがローソク足にぶつかったときに、ローソク足が抵抗となって下げられています。つまりこのように、遅行スパンとローソク足は、レジスタンスになったりサポートになったりします。同様に、2番目のところ、同じように赤丸・青丸で囲っていますが、遅行スパンがローソク足を下から上に上抜いたタイミング、ローソク足がしっかり青色スパンに支えられて上昇しています。

3番目の赤丸のところも面白いように遅行スパンがローソク足とぶつかり、レジスタンスになって上に行っています。

それでは、次に下のチャートです。



黒丸の部分は、運行スパンとローソク足が絡んで方向感がありません。レンジ状態ということです。つまり、運行スパンとローソク足の関係で、上昇なのか下降なのかレンジなのかを判断できるということになります。

ちなみに、下のチャートを見てください。



日足なのですが、これって何かわかりますか？「アベノミクス」です。日足ベースでは、スパンモデルでは、ずーっと買いシグナルが点灯したままだったということです。

下のチャートを見てください。



アベノミクスに似てますが、これは1分足です。買いシグナル点灯から、終了まで約3時間です。つまり、1分足レベルでもゆったりしたトレードができるという特徴もあります。

では、売りシグナルで売って、買いシグナルなら買えばいいんでしょうということになるのですが、実はそういうわけにもいかないのが難しいところなんです。

下のチャートを見てください。



赤丸したところ、買いシグナルで買ったら下げ、売りシグナルで売ったら上げになっています。これを「逆行」（昔は逆指標と言ったそうです）と言います。逆に今までのようにシグナル通り買えば良いパターンを「順行」（昔は順指標と言ったそうです）と言います。つまり、売りシグナル・買いシグナル転換時は変化時間帯として、注意が必要ということになります。

ちなみに、マーフィさん推薦のトレード方法は、売りシグナル・買いシグナル転換時は変化時間帯は、ローソク足にして約6本ぐらいまでは、「逆行」と考える、そして、たとえば売りから買いの場合は、その時の高値を越えたら「順行」とするという方法です。

想像つくかもしれませんが、このチャートに21期間±2σのボリンジャーバンドを引くと、±2σラインと大体当たってるんですよ。

では、スーパーボリンジャです。

ボリンジャーバンド21期間に遅行スパン21日戻したものです。遅行スパンの考え方は、スパンモデルとほぼ同じですが、期間が違います。ボリンジャーバンドに関する見方は同じだと考えてよいかと思います。

エクspansion、スクイーズ、バンドウォークなど探せばいっぱい出てくると思いますので探してみてください。



ちなみに、エクspansionして、ローソク足の終値が±1σより外側であれば、上昇・下降トレンドと判断します。そして、反対側の±3σが勢いがなくなってきたところで決済しようというのが基本的な考え方ですね。

基本的な相場の見方は、上位足のスーパーボリンジャで相場を判断して、下位足のスパンモデルで上位足のトレンド方向にエントリーすることになります。決済は、上昇なら、青色スパンを割ったところとか、赤色スパンを割った

ところとか、それぞれに半分ずつ決済するとか、遅行スパンがローソク足を割ってきたとか、そういうタイミングです。早めに決済するなら青色スパンが平行になってきたところで決済というのも有りだと思います。

ただし、スーパーボリンジャを使わなくても、上位足のスパンモデルで判断しても問題ないと思いますが、どちらが正解というよりも、スーパーボリンジャのほうが反応が早くて、スパンモデルのほうが反応が遅いという特徴があります。青色スパン・赤色スパンそのほか一目均衡表では基準線・転換線の計算式は、意味含めてチェックしておいてください。

3.4 MACDルール

次はMACDルールです。そもそもMACDって知ってますか？

一般的なパラメータは(12、26、9)ですよね(12、26、9)の場合、12EMAと26EMA差を取ったものをMACDラインになります。つまり、短期と長期の差が広がっているときにトレンドが出ているということになります。ちなみに、右側のメモリーってなんだか知っていますか？差のPips数です。0-100%で動くオシレータとは違うので、MACDをオシレータと分類しない人もいます。

ところで、なぜ(12、26、9)なのでしょうね？今回の、MACDルールは20SMAを基準とします。そうすると12ではなく20になります。では長期はどうするかというと、たとえば5分足で20SMAとすると5分足チャートで見たときの15分足20SMAは $(15/5) \times 20 = 60$ SMAになります。(厳密には終値で計算するので全く同じにならないと主ますが)。この考え方からすると、1時間足の20SMAに相当するのは $(60/5) \times 20 = 240$ SMAとなるわけです。

これからがMACDルールの考え方です。基本的にトレードするためには、上位の時間足の方向と一致していることが望ましいわけです。では、どこまでと考えるのですが、2段上までというのが考え方です。もちろんもっと上のほうまで一致しているのが望ましいのですが、1分足でトレードするのに日足までとなるとちょっと過剰だと思いますので、15分足、最大でも1時間足ぐらいまで見てあげればよいかと思います。そこで、たとえば5分足の場合でしたら、1時間足の方向までは最低でも確認する必要があります。

先ほどの計算からすると、5分足の20SMAと1時間足の20SMA、15分足の20SMAと1時間足の20SMAを比較するので、MACDの設定は(20, 240, ?)、(60, 240, ??)となるわけです。ちなみに、?、??のところはシグナル線にかかわる部分になるかと思います。これは、特に意味はないのですが?を5とした場合、??は15分足は5分足の3倍なので15になります。

ここまで大丈夫でしょうか？

引き続き5分足で考えます。

そうした場合、チャート上では、20SMA、60SMA(15分足20SMA相当)、240SMA(1時間足20SMA相当)を引くことになります。MACD、は先ほどの計算通り、(20, 240, 5)、(60, 240, 15)を引くことになります。

ちなみに、MACD側の線は、SMAより反応が早いWMAを使用します。

下のチャートを見てください



赤い線が、チャートの図では20SMA、青い線が60SMA、水色が240SMAです。下側でちょっと太い水色の線は、(60, 240, 15)のMACDラインです。

MACDルールとは、長期のMACDラインと長期SMAの方向が一致しているとき、上位足の相場環境が良いので、一致している方向にトレードすると勝ちやすくなるというものです。もちろん、MACDルールが崩れていてもトレードできないわけではないですが、リスクを把握しているのとしていないのではまったく違うということになります。

MACDルールが不成立ならトレードしない、成立ならその方向だけ見ているということができます。成立していない相場ならトレードしなければよいし、成立しているなら集中してトレードすれば良いことになります。

ちなみに、維新の介さんは、5分足では1時間足まで考慮しているが、やはり1時間足チャートでもMACDルールが成立しているのが望ましいと言っています。やはり日足のチェックは重要とのことですよ。

とりあえず、MACDの設定について、列記してみます。

1分足	(20, 300, 5) , (100, 300, 25)
5分足	(20, 240, 5) , (100, 240, 15)
15分足	(20, 320, 5) , (80, 320, 25)
1時間足	(20, 480, 5) , (80, 480, 20)
4時間足	(20, 600, 5) , (120, 600, 30)
日足	(20, 400, 5) , (100, 400, 25)

こんな感じです。週は5日、月は4周、年は12カ月と考えて計算はできますね。

ところで、1時間足のMACDルールには、実践会設定というのがあります。実践会モードにすると、維新の介さんのデイトレ実践会から発生するシグナルと同等のシグナルが発生します。

実は、1時間足のMACDルールは2段上までのチェックなので、日足まで考慮します。しかしながら適度なシグナルを発生させることや、シグナル発生時にすぐにチャートを見れないなどを考慮して、早めにシグナルを発生するようにしています。

そのため、4時間足と1時間足で判断し、シグナル機関を8とします。また、判定する移動平均線も52WMAにします。日足については、MACDルールの方向と合っているのか合っていないのかをメールにて情報を送ります。

4 インジケータの説明

続いてインジケータの説明です。

4.1 参照インジケータ

すでに、世の中に出回っている今回作成していないインジケータをインストールする必要があります。

4.1.1 スパンモデルインジケータ

名称：span_model.ex4

説明：スパンモデルを表示するためのインジケータ。

パラメータ：

Tenkan:9(デフォルトのままでOK)

Kijun:26(デフォルトのままでOK)

Senkou:52(デフォルトのままでOK)

(注) 一目均衡表と同じパラメータなので、パラメータの意味は一目均衡表を参照してください。

色：

1：転換線（表示しなくても良いです）

2：基準線（表示しなくても良いです）

3：買いシグナル色

4：売りシグナル色

5：遅行スパン

6：先行スパン1

7：先行スパン2

4.2 作成インジケータの説明

4.2.1 スパンモデルシグナルインジケータ

名称：0tyame001_span_model_signal.ex4

説明：スパンモデルの売りシグナル・買いシグナル転換時にシグナルを発する。シグナルは、チャート画面上に矢印、メール、アラートがある。なお、このインジケータを入れても、スパンモデルは表示されないなので、必要に合わせて、インジケータを入れてください。

パラメータ：

(1) スパンモデル用パラメータ

- ・ Tenkan:9(デフォルトのままでOK)
- ・ Kijun:26(デフォルトのままでOK)
- ・ Senkou:52(デフォルトのままでOK)

(注) スパンモデルのパラメータと合わせる必要があります。

(2) 監視チェック用パラメータ

上位足のスパンモデルの売りシグナル・買いシグナルをチェックするかしないかを設定。True で監視、False で監視しない。

なお下位足には影響しない。

たとえば、15 分足を表示している際、Kansi_5m、Kansi_15m は無視する。買いシグナルが出た際、もし Kansi_1H が True だった場合は、1 時間足が買いシグナル状態であれば、シグナルを発するが売りシグナルであれば、シグナルは発しない。

- ・ Kansi_5m: 5 分足監視用(デフォルトは True)
- ・ Kansi_15m: 1 5 分足監視用(デフォルトは True)
- ・ Kansi_30m: 3 0 分足監視用(デフォルトは True)
- ・ Kansi_1H: 1 時間監視用(デフォルトは True)
- ・ Kansi_4H: 4 時間足監視用(デフォルトは True)
- ・ Kansi_1D: 日足監視用(デフォルトは True)

(3) シグナル発報用パラメータ

アラート表示、メール送信を行うか銅貨を設定。True で発報、False で発報しない

- ・ AlertON: アラート表示(デフォルトは True)
- ・ EmailON: メール送信(デフォルトは True)

色：

1：買いシグナル矢印色

2：売りシグナル矢印色

3：決済ポイント矢印色（現在未使用）

4.2.2 MACDルールMACD表示インジケータ

名称：0tyame002_TimeFrame_SHOW_MACD_Rule. ex4

説明：MACD ルールの MACD を表示する。期間とシグナルの期間を設定するだけで、どの時間のチャートを表示しても、そのチャートの時間軸に合わせたMACDルールのMACD部分の表示をする。
短期・長期と両方表示

パラメータ：

(1)MACD 用パラメータ

- ・ Kikan: 基準となる期間（デフォルトは 20）
- ・ _MACD_Method: 説明
- ・ Method: MACD の MA の計算タイプ（デフォルト 3 の WMA）
- ・ Signal: シグナルの期間（デフォルトは 5）
- ・ Signal_Method: Signal の計算タイプ（デフォルト 3 の WMA）

色：

- 1：短期MACD
- 2：短期シグナル
- 3：長期MACD
- 4：シグナル

4. 2. 3 M A C Dルール移動平均線表示インジケータ

名称：0tyame003_TimeFrame_SHOW_MACD_Rule_MA. ex4

説明：MACD ルールの移動平均線を表示するが、一度に最大8本までの移動平均線を引くことができる。段数を指定することにより、表示中の時間足に対する段の移動平均線を表示する。段数を0にすると表示中の時間軸が指定となる。

パラメータ：

(1) 移動平均線用パラメータ

- ・ Disp1:1 本目の移動平均線の表示指定（デフォルトは True）
- ・ Uper1:1 本目の移動平均線の段数（デフォルトは 0）
- ・ MAMethod1:1 本目の移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）
- ・ Disp2:2 本目の移動平均線の表示指定（デフォルトは True）
- ・ Uper2:2 本目の移動平均線の段数（デフォルトは 0）
- ・ MAMethod2:2 本目の移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）
- ・ Disp3:3 本目の移動平均線の表示指定（デフォルトは True）
- ・ Uper3:3 目の移動平均線の段数（デフォルトは 1）
- ・ MAMethod3:3 本目の移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）
- ・ Disp4:4 本目の移動平均線の表示指定（デフォルトは True）
- ・ Uper4:4 本目の移動平均線の段数（デフォルトは 2）
- ・ MAMethod4:4 本目の移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）
- ・ Disp5:5 本目の移動平均線の表示指定（デフォルトは True）
- ・ Uper5:5 本目の移動平均線の段数（デフォルトは 3）
- ・ MAMethod5:5 本目の移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）
- ・ Disp6:6 本目の移動平均線の表示指定（デフォルトは True）
- ・ Uper6:6 本目の移動平均線の段数（デフォルトは 4）
- ・ MAMethod6:6 本目の移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）
- ・ Disp7:7 本目の移動平均線の表示指定（デフォルトは True）
- ・ Uper7:7 本目の移動平均線の段数（デフォルトは 5）
- ・ MAMethod7:7 本目の移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）

- ・Disp8:8 本目の移動平均線の表示指定（デフォルトは True）
- ・Uper8:8 本目の移動平均線の段数（デフォルトは 6）
- ・MAPeriod8:8 本目の移動平均線の期間（デフォルトは 20）
- ・MAMethod8:8 本目の移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）

色：

- 1：1 本目移動平均線色
- 2：2 本移動平均線色
- 3：3 本移動平均線色
- 4：4 本移動平均線色
- 5：5 目移動平均線色
- 6：6 本目移動平均線色
- 7：7 本目移動平均線色
- 8：8 本目移動平均線色

4. 2. 4 MACDルールシグナルインジケータ

名称：0tyame004_MACD_Rule. ex4

説明：MACD ルールのシグナルなる配信を行う。表示中の時間軸に合わせたルールにおけるシグナルを発生する。

パラメータ：

(1) シグナル発報用パラメータ

アラート表示、メール送信を行うか銅貨を設定。True で発報、False で発報しない

- ・ AlertON: アラート表示(デフォルトは True)
- ・ EmailON: メール送信(デフォルトは True)

(2) MACD 用パラメータ

- ・ _MACD: 説明
- ・ MACD_Period: 基準となる期間 (デフォルトは 20)
- ・ MACD_Method: MACD の MA の計算タイプ (デフォルト 3 の WMA)
- ・ Signal_MAPeriod: シグナルの期間 (デフォルトは 5)
- ・ Signal_Method: Signal の計算タイプ (デフォルト 3 の WMA)

(3) MA 用パラメータ

- ・ _MA: 説明
- ・ MA_Period: 基準となる期間 (デフォルトは 20)
- ・ MA_Method: MA の計算タイプ (デフォルト 0 の WMA)
- ・ Signal_MAPeriod: シグナルの期間 (デフォルトは 5)
- ・ Signal_Method: Signal の計算タイプ (デフォルト 3 の WMA)

(4) 実践会用パラメータ

- ・ JissenKai: 実践会設定にする (デフォルトは True) 実践会設定にすると、1 時間足の MACD ルールは実践会と同等の判定となる。

色：

- 1：上昇シグナル矢印色
- 2：下降シグナル矢印色
- 3：上昇シグナル終了矢印色
- 4：上昇シグナル終了矢印色

4.2.5 スーパーボリンジャーインジケータ

名称：0tyame005_Super_Bollinger. ex4

説明：スーパーボリンジャーを表示する。通常、ボリンジャーバンドや移動平均線の組み合わせで描画できるのですが、結構面倒なので一つのインジケータにしてみました。また、ボリンジャーバンドの中心線を通常の SMA ではなく、EMA、WMA などの指定も可能ですし、中心線を消して、バンドだけ表示することも可能です。

パラメータ：

(1) スーパーボリンジャー用インジケータ

スーパーボリンジャーのパラメータを一部変更できるようにしてあります。

(2) MACD 用パラメータ

- ・MAPeriod: ボリンジャーバンドの期間（デフォルトは 21）
- ・_MAMethod: 説明
- ・MAMethod: 中心線移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）
- ・center_sen: 中心線の表示（デフォルトは True）
- ・sigma_1_sen: $\pm 1\sigma$ ラインの表示（デフォルトは True）
- ・sigma_2_sen: $\pm 2\sigma$ ラインの表示（デフォルトは True）
- ・sigma_3_sen: $\pm 3\sigma$ ラインの表示（デフォルトは True）
- ・Chikou_sen: 遅行スパンの表示（デフォルトは True）
- ・Chikou_Idou: 遅行スパンの移動期間（デフォルトは -20）

色：

- 1：中心線色
- 2： $+1\sigma$ ライン色
- 3： -1σ ライン色
- 4： $+2\sigma$ ライン色
- 5： -2σ ライン色
- 6： $+3\sigma$ ライン色
- 7： -3σ ライン色
- 8：遅行スパンライン色

4.2.6 タイムフレーム対応ボリンジャーバンドインジケータ

名称：0tyame006_TimeFrame_Bollinger.ex4

説明：表示の時間足にかかわらず、段数および期間を指定した

パラメータ：

(1) スーパーボリンジャー用インジケータ

スーパーボリンジャーのパラメータを一部変更できるようにしてあります。

(2) MACD 用パラメータ

- ・ Uper1: ボリンジャーバンドの段数（デフォルトは 1）
- ・ MAPeriod: ボリンジャーバンドの期間（デフォルトは 20）
- ・ _MAMethod: 説明
- ・ MAMethod: 中心線移動平均線の計算タイプ（デフォルトは 0 の SMA）
- ・ center_sen: 中心線の表示（デフォルトは True）
- ・ sigma_1_sen: $\pm 1\sigma$ ラインの表示（デフォルトは True）
- ・ sigma_2_sen: $\pm 2\sigma$ ラインの表示（デフォルトは True）
- ・ sigma_3_sen: $\pm 3\sigma$ ラインの表示（デフォルトは True）

色：

- 1：中心線色
- 2： $+1\sigma$ ライン色
- 3： -1σ ライン色
- 4： $+2\sigma$ ライン色
- 5： -2σ ライン色
- 6： $+3\sigma$ ライン色
- 7： -3σ ライン色